くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 京都市会議員 西野さち子です！

発行：2020年9月13日　連絡先：京都市伏見区新町10丁目３８１ 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117

市民の宝「敬老乗車証制度」を守ろう!!

市民の声で改悪を跳ね返した７年間

京都市は７年前から敬老乗車証制度の改悪を狙ってきましたが、これまで市民の声に押されて、実行できていません。しかし、６月から「持続可能な行財政審議会」を開き、市民サービスの切り捨てを議論しています。サービス切り捨てのトップに上がっているのが敬老乗車証制度です。

集まった署名は計４万６千筆を超える

「敬老乗車証制度を守ろう！連絡会」の皆さんは８月27日に署名1720筆を提出し、京都市と懇談しました。今回で届けられた署名は計４万６５５９筆になります。

議員日誌

「いつでも、どこでも、何度でも」PCR検査の拡充を申し入れ

日本共産党市会議員団は、8月27日に「防疫を目的とした大規模なＰＣＲ検査を行うように求める」緊急申し入れを行いました。

申し入れの直前の25日時点で、京都市の感染者は431人で内感染経路不明者が180人にのぼっていましたから、市中感染の様相になっていることを指摘しました。感染を防ぐためには、市の衛生環境研究所（伏見区）の検査体制の拡充をすること。民間検査機関の検査数を拡充すること。検査体制拡充に向けて、大学・研究機関・病院等に協力を要請すること。各行政区に発熱外来と一体のＰＣＲ検査センターを設置すること。医療機関や社会福祉施設、学校、職場等に陽性者が発生した場合には、関係者全員の検査をすること。陽性者については、速やかに保護・療養できる体制を構築すること。療養に当たり、必要に応じて食事や日常生活必需品の調達支援など、生活に支障をきたさないように支援をすること。などを申し入れました。

危機管理監は「保健所と検査体制については最大の課題として現在検討している。共産党の議員団の提案も受けとめて検討していきたい」と語りました。

市民の暮らしといのちを守る緊急申し入れ

ＰＣＲ検査拡充の申し入れの翌日に、市長に対して「市民の暮らしと命を守る緊急申し入れ」を行いました。コロナの影響で国民健康保険料が払えない世帯に対して、コロナ特例の減免制度がありました。申請すれば4月にさかのぼって減免できるというものです。

しかし、8月末で4月までさかのぼっての減免はできなくなりますから、せめて今年度末に延期すべきと求めました。また、猛暑の中熱中症で亡くなる方が続出しています。危険な暑さから命を守るために、生活保護世帯や低所得世帯へのエアコン設置と夏季見舞金の復活を求めました。

耳よりニュース

高齢者インフルエンザ予防接種の申し込みが変わります

10月1日から、65歳以上の方や60歳から64歳で対象になる方のインフルエンザ予防接種が始まります。

総所得金額が125万円以上の方は、医療機関に予約すれば2000円で摂取できます。総所得125万円以下の方や非課税、生活保護受給者等の自己負担の減免申請用紙が、醍醐支所からお近くの医療機関か包括支援センターに変わります。

申請のご相談は、９月１５日から

２５６－８５８９にご相談ください